



infocom

株主のみなさまへ

2018年3月期 第2四半期

2017年4月1日 → 2017年9月30日

インフォコム株式会社

<http://www.infocom.co.jp/>

証券コード:4348

新中期経営計画の初年度は順調にスタート

代表取締役社長 CEO

竹原 教博



株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2018年3月期 第2四半期決算は、売上高21,203百万円(前年同四半期比9.7%増)、営業利益2,365百万円(同46.9%増)、経常利益2,634百万円(同62.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,574百万円(同145.8%増)となりました。

事業別の概況について説明します。

電子コミック配信サービス「めっちゃコミック」では、前期に引き続き全国主要都市圏でのテレビコマーシャルを実施し認知度のさらなる向上を図りました。またサイト運営にAIを活用して作品のタグ付けを充実させた他、決済手段として「Yahoo!ウォレット」や「楽天ペイ」に対応することにより読者のみなさまの利便性を向上させています。昨年度から開始した独占先行配信も今期は118タイトルまで拡大しました。この結果、前年に比べ1ヶ月早く9月に売上高が100億円を超えて最高売上を更新しました。

「めっちゃコミック」の販売力は出版社様からも高く評価されており、下期には新たな紙との連動企画を開始します。第1弾として集英社様から「グラウンドジャンプめっちゃ」が11月に発行されました。今後も様々な施策を講じて通期売上高目標210億円の達成に努めていきます。

ヘルスケア事業について、昨年度は診療報酬制度改定の影響を受けて、病院のIT投資抑制が顕著となり、

苦戦を余儀なくされましたが、今年度は順調に回復しています。新たな領域である地域包括ケアでの展開を視野に「デジタルヘルスコネクト」のシニア向けビジネスコンテストを開催しました。また一昨年に業務提携したソラスト様の介護施設において様々な製品の実証実験を行い、新たに「介護記録システム」と「見守り支援サービス」の提供を開始しました。ヘルスケア事業では通期売上高目標の90億円を達成するため、病院・製薬企業向けのラインナップ拡充に加え、地域包括ケア領域における「介護丸ごとIT!」の取り組みを加速させるべく、AI、IoTを使った新規ヘルスケアサービスの開発等に係る先行投資を強化しています。

下期も引き続きヘルスケア事業及び電子コミック配信サービスが好調に推移する見通しです。そのため、通期業績見通しを、営業利益5,600百万円(前回予想比5.7%増)、経常利益5,800百万円(同9.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益4,500百万円(同12.5%増)に上方修正しました。

この修正を踏まえ、2018年3月期の期末配当予想を前回予想から3円増額し1株当たり28円(普通配当26円、創業35周年記念配当2円)に修正しました。

株主のみなさまにおかれましては、今後も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

中期経営計画「United Innovation “共創”」概要

基本方針と主要施策

1. 成長の追求

- 電子コミックとヘルスケアを重点事業として成長
- M&Aの積極的推進
- AIやIoTを活用したビジネス展開

2. 成長を支える経営基盤の継続的強化

- 品質管理の継続強化とITを活用したサービス品質向上
- 業務プロセス改革による効率化と社会との協業推進の強化
- 事業推進・技術等の人材育成強化

定量計画

2017年3月期実績	2020年3月期計画
売上高 417億円	売上高 600~800億円
ROE 14.6%	ROE 10%以上
EBITDA 58億円	EBITDA 70~100億円

中期経営計画重点事業 進捗状況



電子コミック事業

中期経営計画目標

市場推移を上回る成長で、
トップシェア確立を目指し、売上高300億円へ

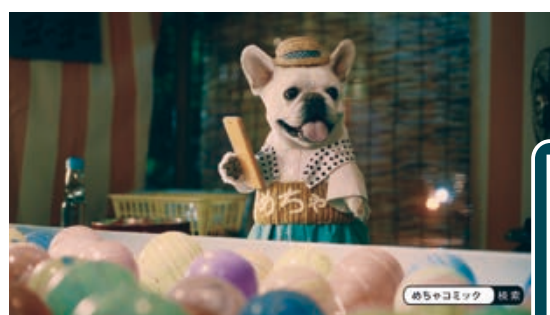
上期の主要なアクション

- AI技術の活用によりコミックのタグ付けを自動化
- オンライン決済サービス「Yahoo!ウォレット」「楽天ペイ」に対応
- 独占先行配信の作品数を拡大

電子コミック売上高

2016年3月期	151億円
2017年3月期	180億円
2018年3月期(目標)	210億円

上期中に
**100億円を
突破!**



めちゃコミック(めちゃコミ)CM「お祭り お面編」



ヘルスケア事業

中期経営計画目標

地域包括/介護領域への注力で
ヘルスケア事業を140億円規模へ成長

上期の主要なアクション

- 「デジタルヘルスコネクト※」シニア向けビジネスのコンテストを開催
※日本初のヘルスケアITイノベーションプログラム
- 介護記録システム「Daily」を構築、株式会社ソラストの通所介護全事業所に導入決定
- 見守り支援サービスの提供を開始



デジタルヘルスコネクト
Aging2.0





News Flash

2017.4-2017.10

4月

ITサービス

働き方改革第1弾「G-tan(ジタン) 経費精算」を提供開始

新事業

インドネシアでアクセラレーション プログラム第2弾を実施

PICK UP

ネットビジネス

研究開発

人工知能(AI)を「めちゃコミック」 で活用

ITサービス

ログイットが展開する機械学習 による感情解析を活用した 次世代コールセンターが稼働

ITサービス

ハーバード大学ライシャワー日本研 究所とデジタルアーカイブに関する 共同研究を開始

ヘルスケア

無人飛行機(ドローン)を活用した 血液検体搬送に参画

6月

研究開発

VR/AR技術の研究成果をAPPS JAPANに出展

ITサービス

災害救急医療・福祉情報システム の共同開発を開始

7月

ネットビジネス

「めちゃコミック」にてスクウェア・ エニックスのコミック提供を開始

ネットビジネス

「めちゃコミック」、オンライン決済 サービス「楽天ペイ」を導入

ヘルスケア

日本初のテイラードストレスマネジ メントサービスを開始

9月

新事業

アジアでのスタートアップ企業支援 へ向けインドネシア現地法人設立

PICK UP

ネットビジネス

電子コミック配信サービスの売上高 が100億円を突破

PICK UP インドネシアでスタートアップ企業を支援する現地法人を設立

インフォコムはインドネシアでスタートアップ企業を支援する アクセラレーター事業「GnB Accelerator」の取り組みを実施 しています。2017年3月末に開催された第2回Demo Dayで は投資家やメディア等に向けて、ピッチコンテストに参加した7 社によるプレゼンテーションが行われました。また、8月末にはジ ャカルタに現地法人「GnBアクセラレータ・アジア」を設立。「GnB Accelerator」の推進により、アジアでのスタートアップ企業支 援とビジネス創出を加速していきます。



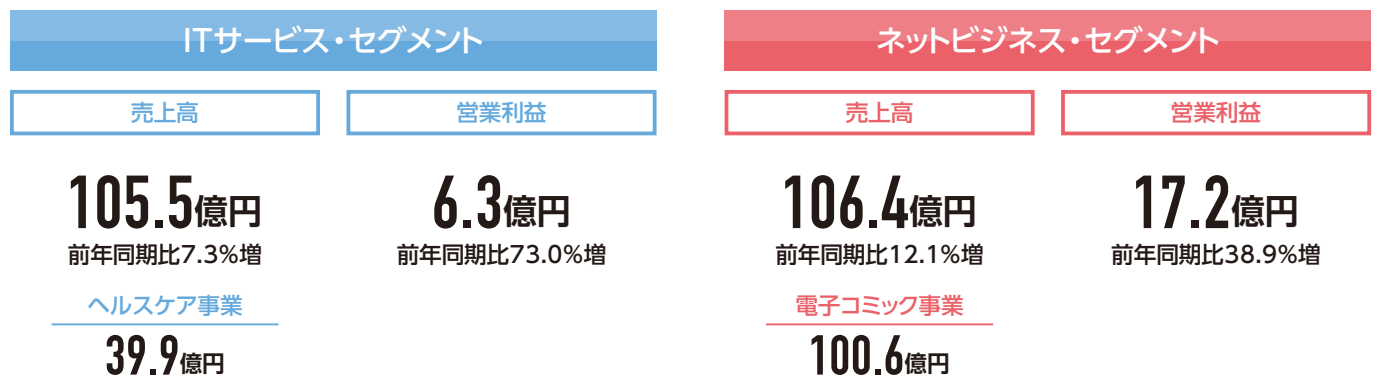
POINT 1 電子コミック事業とヘルスケア事業が好調で、売上高、利益とも増収増益を達成

2 データセンター売却にともない、特別利益を11億円計上

3 業績が順調に推移していることから、通期連結業績予想を上方修正するとともに、期末配当予想を期初予想から3円増額した1株当たり28円に修正



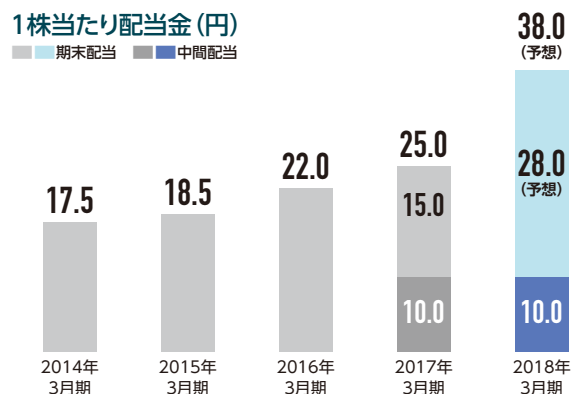
セグメント別の概況



配当方針

インフォコムグループは、株主価値を高める上で安定的な利益還元を重要な経営課題と考えています。資金需要のバランスを考慮の上、健全な財務体質を維持し中長期的な事業拡大に必要な投資を優先するとともに、業績向上に連動した増配に努め配当性向30%を目指す方針です。

なお、この配当方針及び2018年3月期の通期連結業績予想の上方修正を踏まえ、2018年3月期の期末配当予想を期初予想から1株当たり3円増額し、1株当たり28円(普通配当26円、創業35周年記念配当2円)に修正しました。



各案件のプレゼンや案件紹介のマンガなどを参考に投票します



従業員との良好な関係構築

— インフォCOMのCSR活動 Vol.2 —

インフォCOMでは毎年、事業に貢献したプロジェクトを社員投票によって選出する『インフォCOMアワード』を開催しています。様々な評価観点から4つの表彰部門にノミネートされるプロジェクトが推薦され、各部門から「最優秀部門賞」が選ばれます。

さらに、特に貢献度の高かったプロジェクトから「Best Award」が選出され、今年は、めちゃコミックで業務効率化、売上増加に効果を発現した「AI技術を活用した電子書籍サービスのタグ付け」が受賞しました。

受賞者のみなさん、おめでとうございます！

Best Award

最優秀部門賞

部門賞

プロジェクトマネジメント部門
チャレンジ部門
プロセスイノベーション部門
CSR部門

インフォCOMのCSRの考え方

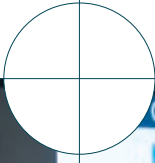
インフォCOMグループでは、「ICTの進化を通じて社会のイノベーションに貢献する。」を企業理念とし、市場や技術の変化を先取りし、社内外の事業関係者と積極的に「共創」することで、社会の役に立つものを提供していきたいと考えています。

そしてインフォCOMグループのステークホルダーのみなさまにとっての企業価値の持続的向上がCSR活動の本質ととらえ、社会との信頼関係の強化、高い倫理観にもとづいた事業活動や透明性の高いコーポレート・ガバナンスの確立が不可欠です。

「お客さま」「株主さま」「地域」「従業員」「震災の復興支援」の各分野でステークホルダーとの取り組みを推進し、信頼関係を築くとともに、事業活動を通じて社会に貢献してまいります。



Close Up



(2017年3月期) 決算 ハイライト (連結)

	2017年3月期 決算	2017年1月期 決算	増減 対前年同 期比	増減 対前 年同期 比
売上高	403.1	417.6	+14.5	+3.6
営業利益 (営業外収益)	44.2	47.7	+3.4	+2.8
経常利益	45.5	48.5	+3.0	+6.0
当期純利益	7.2	32.8	+25.6	+347.7
EPS (調整後)	26.44	119.28	+92.84	+347.7
ROE (%)	3.8	14.6	+10.8	

◆ 前年対比増収増益、特別増収システムが平議も電子コミックや企業向けのITサービスが好調に推移し、売上高、利益とも過去最高を更新。データセンターの稼働も計画通り進捗。

Copyright © 2017 INFOSYS CORPORATION. All rights reserved.



当日は天候もよくきれいな夜景を眺めながらの懇親会となりました。

株主のみなさま
当社株主総会へ
是非お越しください!

2017年6月15日(木)第35回定時株主総会を開催しました。
今年から会場は『六本木ヒルズ』となり、過去最高の200名を超える株主のみなさまにお越しいただきました。
毎年、総会後には当社役員とコミュニケーションを深める機会を設けています。是非、当社株主総会へお越しください!

CHECK!

**株主総会ストリーミング
映像配信中!**

総会でいただいた株主さまからのご質問と回答の一部をご紹介します。

Q 電子コミックの海外戦略をどのように考えていますか?

A まずはアジアがターゲットだと思っています。現在、中国、韓国において、現地の電子書店に日本の漫画を卸すというようなことを実験としてやっています。いずれ「めっちゃコミック」のお店を開きたいと思っています。

Q AIの活用は電子コミック以外にほかの分野(ヘルスケアなど)でも既に取り組み始めていますか?

A AIについては、幾つかまだ「めっちゃコミック」で活用できることがあり、売り上げも左右するぐらい差別化できる要素があります。それ以外に、ヘルスケアの領域において、AIというのは多くのアプリケーションが考えられます。その中で、特に注力しているところは認知症関連の分野です。

Q M&Aの200億円の使い道としてどの分野を考えていますか?

A ほとんどが電子コミックだと思っています。その次がヘルスケア領域を考えています。

Q 働き方改革というのが最近叫ばれていますが、これに対しての影響と対策があれば教えてください。

A 当社も何年も前から働き方改革というものを行っており、ITを使って生産性を上げていくなど様々な取り組みを続けています。育児休暇も充実しており、在宅でも働けるような仕組みもあります。また、この業界は長時間労働が問題視されますが、我々は以前から継続して削減しています。一方で、生産性との闘いになるので、その点はなかなか難しい面はありますが、もう何年もやり続けています。

会社概要

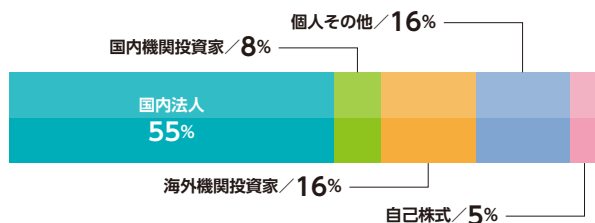
商号	インフォコム株式会社 (INFOCOM CORPORATION)
代表者	代表取締役社長 CEO 竹原 教博
設立	1983年2月
本社所在地	東京都渋谷区神宮前2-34-17
決算期	3月末日
資本金	15億90百万円
社員数	640名(単体) 1,082名(連結)
主要事業所	関西事業所
グループ会社	国内8社、海外2社

役員

代表取締役社長	竹原 教博
常務取締役	里見 俊弘
取締役	尾崎 俊博
取締役	海江田 芳樹
取締役	社外 独立 津田 和彦
取締役	社外 独立 藤田 一彦
常勤監査役	玉井 隆
常勤監査役	社外 池田 一志
監査役	遠藤 則明
監査役	社外 独立 小倉 弘行

※ 社外 会社法に定める社外取締役・社外監査役
独立 東京証券取引所の有価証券上場規程に定める独立役員

株式の所有者別状況



株式情報

上場市場(銘柄コード)	東京証券取引所 JASDAQスタンダード(4348)
発行可能株式総数	115,200,000株
発行済株式総数	28,800,000株
株主数	4,472名
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金:3月末日 中間配当金:9月末日
売買単位	100株
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-7111 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告の方法

電子公告として当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。公告掲載URL: <http://www.infocom.co.jp/>

大株主の状況

株主名	持株比率(%)
帝人株式会社	55.13
自己株式	5.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3.22
インフォコムグループ従業員持株会	2.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1.94
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	1.72
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	1.69
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	1.56
資産管理サービス信託銀行株式会社	1.19
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	1.09

当冊子「株主のみなさまへ」とは
別々のご郵送となります。

株主優待制度について

毎年9月30日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主さまを対象に、保有株数と保有年数に応じた優待ポイントを贈呈いたします。優待ポイントは、インフォコムグループが運営する「オーガニックサイバーストア」で利用可能なポイントまたはインフォコムがご用意した「優待商品」と交換いただけます。

※「株主優待制度のご案内」を対象の株主さま宛にご郵送いたします。

当冊子とは別々のご郵送となり、郵送状況により到着が前後する場合がありますが、あらかじめご了承ください。



お問い合わせ インフォコム株式会社 広報・IR室

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-34-17 住友不動産原宿ビル

TEL: 03-6866-3000(代) FAX: 03-6866-3900 E-mail: pr@infocom.co.jp

